

## 令和6年度 第3回 五泉市国民健康保険運営協議会会議録

開催日	令和7年2月6日 木曜日	
開催場所	五泉市役所5階 第2委員会室	
	会長	小林 泰訓
	副会長	魚野 洋樹
	(第1号)	森 智子委員 浅井 隆子委員 齋藤 博子委員 杉山 真弓委員 龜山 公子委員 歌川 祐二委員 金子 洋 委員 笛川 真司委員 相田 悟 委員
	(第2号)	阿部 周夫委員 波塚 静亮委員 山田 正良委員 磯野 寧宏委員 荒井 悟 委員
	(第3号)	
	(第4号)	
出席者	田邊市長 佐藤副市長 税務課 健康福祉課 地域振興課 市民課	林(学)課長、内川課長補佐、斎藤係長 林(浩)課長、小澤課長補佐、 瀬倉係長 風間課長、塚野課長補佐、高橋係長
説明員	書記	市民課 樋口主事
欠席委員	(第2号) 大日方 一夫委員	

## 付 議 事 件 及 び 審 査 結 果

報告第5号 令和6年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算について

報告第6号 五泉市特定健康診査等実施計画及び五泉市国民健康保険  
データヘルス計画の進捗状況について

報告第7号 令和7年度五泉市国民健康保険特別会計予算（案）について

そ の 他

会議録署名委員 杉山 眞弓 委員

午後 1 時 15 分 開 会

## 議事の経過概要

### 主な質疑・意見等

塙野課長補佐	<p>定刻前ではございますが、みなさんお揃いですので始めさせていただきます。</p> <p>本日は、医師等代表 大日方一夫委員より欠席のご連絡をいただいておりますので、皆様にご報告いたします。</p> <p>次に、資料の確認をお願いいたします。</p> <p>本日は、令和6年度第3回五泉市国民健康保険運営協議会議案書、令和6年度第3回五泉市国民健康保険運営協議会参考資料の2冊を事前に送付させて頂いております。</p> <p>他に委員名簿、座席表、前回ご審議いただいた国民健康保険税の答申(写)を机上に配布しております。</p> <p>また、大変申し訳ございませんが議案書の差し替えをお願いいたしたく1枚配布いたしましたので、後ほど差し替えくださいますようお願いいたします。</p> <p>議案書等ご用意のない方がいらっしゃいましたら、お申し付けください。</p>
風間課長	<p>本日はお足元の悪い中、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。それでは、ただいまから、令和6年度第3回五泉市国民健康保険運営協議会を開催いたします。</p> <p>次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、小林会長がご挨拶申し上げます。</p>
小林会長	<p>みなさんお疲れ様でございます。</p> <p>本日、ご覧の通り、この雪の中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>また、朝からですね除雪作業をされて、そしてまた午後からこの会議ということで、重ね重ねお疲れ様でございます。</p> <p>前回のこの運営協議会につきましては、新年度の税率について審議いただきました。</p> <p>本日は、報告が3件あります。</p> <p>今年度の補正、特定健診実施計画の進行状況ですね、そして新年度の予算ということあります。</p> <p>スムーズな進行にみなさんご協力いただけますよう、何卒よろしくお願ひいたします。</p>
風間課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、田邊市長があいさつ申し上げます。</p>
田邊市長	<p>みなさんこんにちは。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、また、積雪で足元の悪い中ご出席をいただき</p>

	<p>ましてありがとうございます。</p> <p>委員の皆様には、日頃から国保の運営はもとより、市政全般にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>さて、今年の冬はですね、平年より降雪が多いという予報でありました。このところの大寒波によってですね、昨年以上の積雪になっているところもあります。</p> <p>実は午前中、五泉地域衛生施設組合の議会がありました。そちらに伺ったんですけども、ご承知の通り、この4月から新しい中間処理施設「クリーンセンターあがのがわ」が供用されるわけでありますが、構成市町の阿賀町の神田町長から聞いたところ、2メートルぐらい阿賀町では降っているそうです。</p> <p>また、事務局職員の中に、戸倉に住んでる職員がおりまして、80センチメートル降ったということで、地域の差があるとはいえですね、十分お気をつけいただきたいというふうに思います。</p> <p>さて、昨年からですね、秋からのインフルエンザ、新型コロナウイルス、マイコプラズマ肺炎など、いわゆる感染症が猛威を振るっているところあります。</p> <p>子供たちはじめ市民の皆さんのが健康が心配される状況であります。</p> <p>ここにおられる医師等の方をはじめ、みなさんからご尽力いただき、また、関係者とも病気の予防に努めているところであります。</p> <p>このような中、令和7年度予算編成作業が大詰めを迎えているところであります。</p> <p>今月中には国保特別会計を含めた市全体の予算を、みなさんにお伝えできるというふうに思っております。</p> <p>厳しい社会情勢と、今後さらなる少子化や人口減少が叫ばれてる中、市民の笑顔健康づくりは重要な取り組みであります。</p> <p>医療費の適正化と、健康維持・増進などを含め、今後も税率を上げることなく、据え置きできるように今後の財政状況を考慮し、取り組んで参りたいと思います。</p> <p>本日は委員の皆さんからご意見等を賜りますようお願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しいところご出席いただき、ありがとうございました。</p>
風間課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて三、議事に入ります。</p> <p>ここからは、協議会規則の規定により、会長から進めていただきます。</p> <p>それでは小林会長よろしくお願ひいたします。</p>
小林会長	<p>それでは、ただいまの出席委員は16名で、過半数に達しておりますので、協議会規則第5条の規定により、令和6年度第3回五泉市国民健康保険運営協議会を開会いたします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>次に、会議録署名委員の指名ですが、協議会規則第11条第2項</p>

	の規定により、杉山眞弓委員を指名いたします。
	よろしくお願ひします。
	次に報告第5号令和6年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算についてであります。
	それでは説明をお願いします。
田邊市長	はい。
小林会長	はい、田邊市長。
田邊市長	報告第5号令和6年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算についてご説明を申し上げます。 令和6年12月定例市議会において、第3号は27万2千円、第4号では183万5千円を、歳入歳出の総額に、それぞれ追加をいたしました。 以上を令和6年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算の概要について申し上げましたが、詳細につきましては市民課長に説明をさせます。
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	それでは、報告第5号令和6年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算についてご説明申し上げます。 議案書3ページをお願いいたします。 令和6年12月定例市議会におきまして、予算の補正を行ったものであります。 1. 令和6年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算第3号についてであります。 主な内容を記載してございますが、歳入は、職員給与費等繰入金27万2千円の追加であります。 歳出は、人件費の調整に伴う27万2千円の追加、国民健康保険事業費納付金10万9千円の減額。 財政調整基金積立金2,073万6千円の減額、令和5年度交付金精算による県への返還金、2,084万5千円の追加であります。 次に2. 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算第4号についてであります。 歳入につきましては、保険給付費等交付金、(特別交付金)2万2千円及び職員給与費等繰入金181万3千円の追加であります。 歳出につきましては、人事院勧告に伴う給与改定による人件費187万2千円の追加と、財政調整基金積立金3万7千円の減額であります。 以上、令和6年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算につきまして、ご報告いたします。
小林会長	それでは質疑に入ります。

	<p>ただいまの説明に対し、ご質疑ありませんか。</p> <p>はい。 ないようでありますので、報告第5号を終了いたします。</p> <p>次に、報告第6号五泉市特定健康診査等実施計画、五泉市国民健康保険データヘルス計画の進捗状況についてであります。</p> <p>それでは説明をお願いします。</p>
田邊市長	<p>議長。</p>
小林会長	<p>はい、市長。</p>
田邊市長	<p>はい。 それでは報告第6号 五泉市特定健康診査等実施計画及び五泉市国民健康保険データヘルス計画の進捗状況について、ご説明申し上げます。</p> <p>本計画は、平成30年度から令和5年度までを計画期間とし、効果的かつ効率的な保健事業を行い、医療費の適正化と健康寿命を延ばすことを目的としております。</p> <p>このたびは、計画目標に対する令和5年度の進捗状況についてご説明させていただきますが、受診率は県内30市町村中29番目と低く、伸び悩んでいる状況であります。</p> <p>なお、詳細については、市民課長に説明させます。</p>
風間課長	<p>はい。</p>
小林会長	<p>はい、風間課長。</p>
風間課長	<p>それでは、報告第6号 五泉市特定健康診査等実施計画及び五泉市国民健康保険データヘルス計画の進捗状況について、ご説明申し上げます。</p> <p>議案書は5ページから、参考資料は1ページからとなります。</p> <p>議案書7ページをお願いいたします。</p> <p>令和5年度の特定健診実施率は41.1%で、前年から1.8ポイント上昇しておりますが、県内30市町村中29番目であります。</p> <p>詳しい内容につきましては、担当係長に説明させますので、よろしくお願いいたします。</p>
高橋係長	<p>はい。</p>
小林会長	<p>はい、高橋係長。</p>
高橋係長	<p>それでは、報告第6号 五泉市特定健康診査等実施計画及び五泉市国民健康保険データヘルス計画の進捗状況について、ご説明させていただきます。</p> <p>議案書5ページをお願いいたします。 第1部 五泉市特定健康診査等</p>

実施計画（第3期）であります。

まず、1の（1）令和5年度 国民健康保険の加入状況であります。令和6年3月31日現在、被保険者は8,739人で、五泉市人口の18.9%、約5人に1人が加入しております。

次に（2）被保険者数及び特定健康診査対象者の推移であります。令和5年度における被保険者の年度平均者数9,153人のうち、特定健康診査の対象となる40歳から74歳までの方は6,865人で、75.0%を占めております。被保険者・特定健康診査対象者ともに年々減少しておりますが、主な要因は市全体の人口減少・少子高齢化のほか、令和4年度から団塊世代の方が75歳に到達し後期高齢者医療制度に移行していることによるものと考えております。

続きまして、6ページをお願いいたします。2. 1人当たりの医療費であります。各年度5月分の生活習慣病医療費と総医療費の推移についてまとめております。

市全体で見ますと生活習慣病医療費・総医療費とともに、増加傾向で推移しておりましたが、令和3年度をピークに令和4年度は減少しております。

一方、1人当たりで見ますと、令和4年度に一度減少したものの、令和5年度は再び増加に転じております。

医療費増加の原因として、疾病の長期化や重症化、医療の高度化などが考えられますが、いずれにしましても万病の元となる生活習慣病の予防が特に重要であると考えております。

次に3. 令和5年度までの目標値であります。国が基本指針で示した令和5年度目標値に基づき、令和4年度までの当市の目標値を設定しております。

特定健康診査を受けるだけで生活習慣病が改善するということはありませんが、特定健康診査受診後の行動変容につなげるため、まず特定健康診査の実施率を向上させることが重要となります。

続きまして、7ページをお願いいたします。4. 健診実施率及び受診者の状況であります。あわせて、別添の参考資料1ページから6ページもご覧ください。議案書上段の表にありますとおり、令和5年度は特定健康診査の受診率は41.1%となり、令和4年度の39.3%から1.8ポイント上昇したものの、県内市町村平均の45.9%に到達しませんでした。また、令和5年度の特定保健指導の実施率は40.5%となり、令和4年度の47.1%から6.6ポイント減少しましたが、県内市町村平均38.9%を1.6ポイント上回りました。

続きまして、8ページをお願いいたします。5. 受診率向上の取組みについて、令和5年度、6年度の取組みを記載しております。（2）令和6年度 受診率向上の取組みの中から主なものといたしまして、まず③昨年度まで世帯主宛に送付していた健診の受診案内を個人宛に変更いたしました。これにより、受診案内が対象者へ確実に届くようになると考えております。次に④集団健診において受診当日の混雑を避けるため、インターネット・電話等での予約制に変更いたしました。参考資料の8ペ

一頁をご覧ください。令和6年度の集団健診の実施状況をまとめたものであります。一番下の合計になりますが、受診枠5,800に対しまして事前予約が4,382件ありました。実際の受診者は4,339人であります、当日の飛び込みやキャンセル等もありましたが、大きなトラブルもなく概ね順調に実施することができたと考えております。次に⑥受診勧奨ハガキの送付であります。参考資料の11ページから22ページをご覧ください。AIやナッジ理論を活用し、過去の健診結果などから未受診者を特性別に分け、それぞれの特性に基づき、行動変容を促すのに最適なメッセージを作成するという手法を令和5年度から取り入れておますが、令和6年度も資材等を変えながら実施しております。

続きまして、議案書9ページをお願いいたします。第2部 五泉市国民健康保険データヘルス計画（第2期）であります。

はじめに1. 平均寿命及び平均自立期間であります。表のとおり、男性・女性ともに平均寿命は国、県を下回り、平均自立期間は国、県並みとなっております。

次に2. 死亡原因疾患であります。1位はがん、2位は心臓病、3位は脳疾患となっており、国、県と比較すると心臓病で亡くなる方の割合は低く、がんや脳疾患で亡くなる方の割合が高くなっています。

次に3. 傷病名による医療費の割合であります。1位はがん、2位が精神疾患、3位が筋・骨格系の疾患となっておりまして、国、県と比較すると、がん、脳出血・脳梗塞の割合が高くなっています。

続きまして、10ページをお願いいたします。4. 評価指標の達成状況であります。当市では、他市と比較して慢性腎不全や脳血管疾患などの医療費が高いことから、これらを防ぎ、元気に過ごす市民が増えるよう、大きく目標を2つ定めております。1つ目が、上段の濃い青色で着色されている「糖尿病の悪化による慢性腎臓病を減らす」であります。2つ目が、11ページの上段の濃い青色で着色されている「血圧を適正にして脳卒中を防ぐ」であります。この2つの大きな目標に対し、細目標ということで中段の水色で着色されている項目があり、その下に健康管理に関するアプローチとして緑色で着色された項目があるという構成になっております。

それでは、1つ目の大きな目標「糖尿病の悪化による慢性腎臓病を減らす」についてであります。指標4項目について、令和4年度と比較しますと令和5年度は全項目で改善したものの、目標に到達できない状況でありますので、今後も糖尿病の悪化による慢性腎臓病を減らすため、特定健診の受診率向上に努めることが重要と考えております。

続きまして、11ページをお願いいたします。2つ目の大きな目標「血圧を適正にして脳卒中を防ぐ」についてであります。指標11項目のうち、目標達成が3項目、未達成が8項目となりました。外来の目標については概ね目標を達成できていますが、入院の目標は達成できておりませんので、今後も血圧を適正にして脳卒中を防ぐため、特定健診の受診率向上に努めることが重要と考えております。

以上、それぞれの計画の進捗状況について説明をさせていただきまし

	た。ご意見等がありましたらよろしくお願ひいたします。
小林会長	それでは質疑に入ります。 ただいまの説明に対し、ご質疑ありませんか。
森委員	はい。
小林会長	はい、森委員。
森委員	5. 受診率向上の取組みの中で、(2) の④なんですけど、集団健診において受診当日の混雑を避けるため、インターネット・電話等での予約制に変更ってことなんんですけど、独居老人でスマホを持っておらず、電話をかけてもなかなか予約が取れないというふうな話を実際に聞きました。例えば、何時から何時の間が比較的電話空いてますよとか、その辺どういうふうにやっているのかを教えていただきたい。
小澤課長補佐	はい。
小林会長	はい、小澤課長補佐。
小澤課長補佐	はい、ただいまのご質問にお答えします。 春健診のときは、電話が混み合って繋がらなかつたというご意見をたくさんいただきました。その後、電話の空いてる時間帯をご案内するとか、健康福祉課の窓口で予約をお取りしたり、市役所の市民コーナーに特設窓口を設置して、対面で予約が取れるというようなことをさせていただきました。
	インターネットだと年配の方には難しかったので、春の反省を踏まえて、秋健診のときには、今申し上げたような対応をとさせていただきまして、苦情等のご意見はなかつたように思っております。
森委員	はい。
小林会長	はい、他にありませんか。
波塚委員	はい。
小林会長	はい、波塚委員。
波塚委員	健診ですね、受診率向上のところで 1.8% 上昇したということは喜ばしいことだというふうに思います。 なかなか 2 % 近く上げるってのは容易でないっていうふうに理解はしてますけども、まず 60% という目標を掲げてますので、その辺で取り組みの実績と、実際の計画との乖離があるわけですから、どんなふうに考えてるのかお聞かせください。
風間課長	はい。

小林会長	はい、風間課長。
風間課長	受診勧奨はがきを年に3回ほど送っておりますが、その内容の文言を変えてみたりとか、単年ではちょっと難しいのかなということもありますので、引き続き取り組みを考えながらやっていきたいと思っております。
波塚委員	はい。
小林会長	はい、波塚委員。
波塚委員	はい。 あと県内ではかなり高いところ、実際6割を超えてるところもありますけれども、その辺どんな取り組みを歴史的な経過等も多分あるのかもしれませんけども、その辺は掴んでらっしゃいますか。
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	他市の取り組みを具体的にはちょっと掴んでおりません。
波塚委員	はい。
小林会長	はい、波塚委員。
波塚委員	やっぱり他市の取り組みを掴んでいないと、同じ県内なわけですから、その辺はちょっといかがなものかというふうに思いますが、どうでしょうか。市長。
田邊市長	はい。
小林会長	はい、市長。
田邊市長	取り組みについては、県補助金の対象となるナッジ理論を活用した事業を、県内では五泉市ともう1つの自治体でやっているんですけども、単年ではできないということ、あと、やっぱり市民の方の根本的なところがありまして、昨年11月30日に医師会様と協力し、市民公開講座をラポルテ五泉で開催しました際に、上手な医者のかかり方という内容でお話を申し上げましたが、五泉の多くの市民の方の中で、医者に行ってるとイコール日々の健康診断を受けてるという理解になり、健康診断を受けなくていいよっていう意識があるという事を、いろんなところから聞いておりますし、逆にお医者様の方からもそういった意識があるんで、今、各医院でもですね、できるような取り組みをですね、昨年からやらせていただいておりまして、そういう意味でも、草の根のところからですね、今スタートしたところでありますので、もう1年、もう半年、1年ぐらい、数字を見ながらですね、次を考えていきたいというふうに思つ

	てます。
小林会長	根本的なところは、やっぱり市民の意識を変えないと、いくら手を講じてもそういういたところに結びつきませんので、粘り強くですね、取り組んで参りたいと思います。
波塚委員	はい、波塚委員。
	そういういた市町村それぞれの歴史があると思います。
波塚委員	そういうところもあるわけですから、ちょっと学んでいかないと駄目なんじゃないかなというふうに思います。
	それから、健診の費用が無料になったということが、どの程度その健診受診率アップに繋がったのかっていうことで、どんな評価されてますでしょうか。
塙野課長補佐	はい。
小林会長	はい、塙野課長補佐。
塙野課長補佐	はい。市独自の算出で、24%ぐらいであります去年よりも少し上がってるような状況なんですけれども、被保険者数とか来年の12月頃にならないと確定しませんので、今現在の状況としては、去年よりもちょっと増えておるのかなというような状況でございます。
波塚委員	はい。
小林会長	はい、波塚委員。
波塚委員	いろんなやり方は多分あると思いますし、議会でも申し上げましたけども、やっぱり他部署、特に健康福祉課等のですね、保健師さんの協力といいますか部署との連携、そういうことも含めて検討いただきたいというふうに思います。
	それからもう1つは、財政調整基金、国保の基金が余ってますので、受診料を無料にしたり、邪道と言われば邪道ですけども、何かインセンティブを付けたり、そういうふうなことも含めて考えたらいいんじゃないかなというふうに思います。
	以上です。
小林会長	はい、他にありませんか。
阿部委員	はい。
小林会長	はい、阿部委員。
阿部委員	はい。すいません、確認です。 6ページの2の1人当たりの医療費ということで、生活習慣病医療費、その後に1人当たり生活習慣病医療費等々出てますけど、これレセプ

	トを見て抽出しているかと思うんですけども、具体的な生活習慣病、どういった病名を生活習慣病としてとらえてこの数字が出てるのか、糖尿病とか、そういうのが生活習慣病なのかなという認識でちょっとと思うんですけども、具体的にどういった病気・病名の人が、生活習慣病、高血圧もそうでしょうけども、言われてるのか、お聞かせください。
高橋係長	はい。
小林会長	高橋係長。
高橋係長	はい。今ほどのご質問ですが、一応こちらの表の下のところに※印でちょっと表示をさせていただいたんですが、KDB という国保データベースというレセプトを全部まとめたようなデータベースがございまして、その中の大分類のうち、内分泌、栄養及び代謝疾患、あと循環器系の疾患というところで分類されたものを、合算してるという形になっております。
小林会長	阿部委員。
阿部委員	私が聞いてるのは、具体的な病名。高血圧とか糖尿病とか、ここでいう循環器系の疾患と言いましても、何をもって循環器系疾患なのか、レセプトをもとにこの数字作ってるわけですから、実際どういったすべてとは言いませんけども、概ねこういった病気は高血圧・糖尿病とか、いわゆる一般的に我々にわかりやすく、どういった病名を生活習慣病としているのか、お聞かせください。
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	はい、申し訳ありません。 9ページをちょっと見ていただきたいんですが、9ページの下の方に、傷病名による医療費の割合というところで、生活習慣病の右側に囲まれてあるところがあるかと思うんですが、高血圧症、糖尿病、脂質異常症ということで、こちらの方になるかと思います。
阿部委員	はい。
小林会長	はい、阿部委員。
阿部委員	脂質異常症ってのはどういった病名があるんでしょうか。 レセプトでどういうふうに出てるのか。
金子委員	はい。
小林会長	はい、金子先生。

金子委員	<p>脂質異常症には高コレステロール血症と、あとは中性脂肪の高いトリグリセリドの高い高脂血症と、主にその2種類ひっくるめていってると思います。</p> <p>あと、別個に家族性高コレステロール血症ってのがあるんですけども、それは生活習慣と変わってきますので、要はその高コレステロール血症と中性脂肪が高い人の合計だと思われます。</p>
阿部委員	はい。
小林会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>はい、他にありませんか。</p> <p>ないようありますので、報告第6号を終了いたします。</p>
	<p>次に、報告第7号令和7年度五泉市国民健康保険特別会計予算(案)についてあります。</p> <p>それでは説明をお願いいたします。</p>
田邊市長	はい、議長。
小林会長	はい、田邊市長。
田邊市長	<p>それでは、報告第7号 令和7年度 五泉市国民健康保険特別会計予算(案)について、ご説明申し上げます。</p> <p>予算総額は対前年度比3,384万2千円、0.7%減の45億7,125万7千円といたしました。</p> <p>保険税につきましては、前回の協議会で答申をいただき、保険税率を据え置いて算定したところであります。</p> <p>今年度も、健診を受診するきっかけとなるよう、働き盛りの年齢層である40・45・50・55歳年齢到達の被保険者に対し、人間ドック費用助成の上限を4万円といたします。</p> <p>また、特定健康診査対象者の費用を引き続き無料とし、受診率の向上と医療費削減を目指します。</p> <p>なお、詳細につきましては、市民課長に説明させます。</p>
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	<p>それでは、報告第7号 令和7年度五泉市国民健康保険特別会計予算(案)について、ご説明申し上げます。</p> <p>先ほど差し替えで机上配付させていただきました議案書の13ページをお願いいたします。</p> <p>歳入から主なものをご説明させていただきます。</p> <p>一番上、1款国民健康保険税でございます。国民健康保険税につきま</p>

しては、対前年度比 93.6%、4,854 万 7 千円減の 7 億 1,184 万 1 千円であります。被保険者数を 8,039 人、世帯数を 5,606 世帯と見込んでおります。ちなみに令和 5 年度の年間平均被保険者数は 9,153 人となっておりまして、団塊の世代の方の後期高齢者医療制度への移行などにより相当数被保険者が減少している状況でございます。税率につきましては、今ほど市長からもありましたが、現行税率で算定をいたしております。

続きまして、2 款分担金及び負担金につきましては、39 歳以下の方が集団健診を受診される方の自己負担分で、40 歳から 74 歳の方は令和 6 年度に引き続き、自己負担金 1,300 円を無料にして、特定健診受診率の向上を図ってまいります。

続きまして、5 款県支出金でございます。医療費の支払いに対する財政措置として交付される普通交付金でありますが、対前年度 100.5%、33 億 9,256 万円となっております。その下の特殊要因に対して交付される特別交付金につきましては、対前年度比 82.9%、6,286 万 5 千円と見込んだところであります。

続きまして、7 款繰入金につきましては、対前年度比 102.8%、1,059 万円増の 3 億 9,346 万円と見込みました。この主な内容でありますが、

「保険基盤安定（保険税軽減分）」1 億 3,338 万 1 千円は、保険税の軽減措置を実施した際の歳入不足を県と市で補うものであります。「保険基盤安定（保険者支援分）」6,966 万 7 千円は、保険税軽減対象者数に応じて国・県・市から財政支援されるものであります。「その他一般会計」7,113 万 1 千円は、職員の給与費や事務費、連合会負担金、賦課徴収費等のために市の一般会計から繰り入れるものであります。「国保財政安定化支援事業」6,676 万 5 千円は、被保険者の負担能力や年齢構成等に応じ国から繰り入れられるものであります。「基金積立金」は 4,688 万 5 千円で、国保財政調整基金を繰り入れることで收支の均衡が図れると試算しております。

続きまして、14 ページをお願いいたします。

歳出について、ご説明させていただきます。

1 款総務費 7,234 万 5 千円は、対前年度比 110.7%、698 万 1 千円の増であります。主な内容は、職員給与費や事務費、連合会負担金、並びに本協議会の運営費などであります。

続きまして、2 款保険給付費であります。保険給付費につきましては、県が示す推計値などにより、対前年度比 100.5%、1,613 万 4 千円増の 34 億 359 万 9 千円と算定いたしました。

続きまして、3 款国民健康保険事業費納付金であります。こちらは、新潟県が保険給付に必要となる費用を算出し、それぞれの市町村に割り当てるもので、対前年度比 95.7%、4,608 万 5 千円減の 10 億 1,568 万 7 千円であります。

続きまして、4 款保健事業費であります。こちらは、対前年度比 84.5%、1,181 万 6 千円減の 6,465 万 9 千円といたしました。特定健康診査等事業費では、特定健診の未受診者対策として、5 年度から行っている成果連動型民間委託契約方式を導入した受診勧奨業務を引き続き行います。内容としましては、被保険者の傾向別に分けた受診勧奨を 3 回行い、1 年目に受診勧奨の実施に必要な固定費を支払い、受診率が確定する 2 年目で成果に応じた支払いを行うというものであります。10 分の 10 補助

	<p>を財源として取り組むもので、5・6年度及び6・7年度と実施している事業を引き続き7・8年度も行い、健診受診率の向上を図ります。</p> <p>健康づくり事業費では、35歳から74歳の被保険者に人間ドック、脳ドック、がんドックの費用助成を、2万5千円を上限に助成しているところですが、6年度に引き続き、満40・45・50・55歳の方の人間ドック費用助成を1万5千円上乗せし、上限を4万円とするものであります。</p> <p>特定健診の自己負担分の無償化や、人間ドック助成の拡充が、健診を受診するきっかけとなり、健診が習慣化されることで、生活習慣病等の早期発見・早期治療が行われ、医療費の抑制につなげていきたいと考えております。</p> <p>以上、令和7年度五泉市国民健康保険特別会計予算（案）につきまして、ご報告いたします。</p>
小林会長	それでは質疑に入ります。 ただいまの説明に対し、ご質疑ありませんか。
波塚委員	はい。
小林会長	はい、波塚委員。
波塚委員	差し替えた理由、ちょっとお聞かせください。
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	はい。申し訳ありませんでした。 説明欄のところに、間違った表記がありまして、具体的に言いますと、例えば14ページでありますと、一番下の諸支出金と8予備費の説明欄に言葉が入っているかと思うんですけども、その文言がちょっと間違つておりましたので、差し替えさせていただきました。 大変失礼いたしました。
小林会長	はい、他にありませんか。
磯野委員	はい。
小林会長	はい、磯野委員。
磯野委員	はい。 参考までにお伺いしたいんですけども、人間ドックの補助で、2万5千円の補助と4万円の補助、これはカテゴリーの差があることなんでしょうか。
風間課長	はい。

小林会長	はい、風間課長。
風間課長	人間ドック、脳ドック、がんドックの助成につきましては、2万5千円を上限に助成しているところであります。年度末で40歳、45歳、50歳、55歳になられる方に関しては、上限を4万円とさせていただくものであります。
小林会長	
齋藤委員	はい、ありがとうございました。
小林会長	はい、他にありませんか。
齋藤委員	はい。
小林会長	はい、齋藤委員。
齋藤委員	歳入のところで、先ほど県支出金のうち、特別交付金が特殊要因の部分だということで1,300万ほど少なくなるわけですけど、その特殊要因とは具体的にどういうものですか。
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	県補助金の特別交付金の減額ですが、精神とか結核にかかる医療費が大きいと交付される補助金があるんですけども、そちらの方で被保険者が減っているということで、県の方から減額ということで通知が来ております。
小林会長	はい、他にありませんか。
齋藤委員	はい。
小林会長	齋藤委員。
齋藤委員	前回の会議で、基金に対しての積み立てとか、基金残高に対しての、五泉市としての考え方が必要ではないかと、何人かの委員の方か確かにご意見があったかと思いますけど、その後、五泉市としての考え方を整理されたのかどうかちょっとお聞きしたいんですけど。
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	基金をどういうふうに整理するとか、というような具体的なものは、まだ検討中であります。 今後の県の保険料率の統一も踏まえながら、検討していきたいと思っておりますが、具体的にまだ検討はできてないところであります。

田邊市長	はい。
小林会長	はい、田邊市長。
田邊市長	<p>はい。</p> <p>この議論は、市議会の中においても行われているところがありますが、いくら残せばいいとかというものもあるかもしれませんけども、健康づくりだとかいろいろな要因があってですね、基金の金額が他の市町村においても、算定不可能であるわけあります。</p>
	<p>このところ、必ず取り崩しが必要という試算になっておりますが、計算違ひっていうことではないんですけども、医療費の上限によってとか、様々な要因で基金を取り崩さなかつたという事実のところが大きかつたわけでありますし、私、冒頭に申し上げましたように、今後税率を上げることなく、据え置く・維持するということを基調にして考えを進めているところでありますので、今後、保険事業費納付金とかちょっと未知なところもありますので、取り崩す状況が間違いなくあるという前提でですね、いくら残すとか、額がいくらというルールは特に定めていないところであります。答えになりましたかね。</p>
齋藤委員	はい。
小林会長	はい、齋藤委員。
齋藤委員	<p>先ほど、県の進めてる保険料水準統一ってこともあるし、いろいろな要因が市長がおっしゃられたように、不確定な要素要因もあるかと思いますけど、ただ結局は余ったから基金にとか、そういうことではなくて、市としてこういうふうな考え方で、例えば基金の額はここまで最低限必要だとか、あるいは、私ども被保険者としては、もちろん保険税率が上昇するっていうのは非常に痛い話ですので、少なくとも据え置くとか、場合によっては、ペナルティがあるかもしれないけど、繰り入れて保険税率を下げるとか、そういうことも選択肢としてはあるのかなというふうに思いますので、幅広い検討されて、ぜひ、市としての考え方を詰めていただきたいなというふうに思います。</p>
小林会長	はい、他にありませんか。
波塚委員	はい。
小林会長	波塚委員。
波塚委員	<p>県単位化の問題があつてね、いずれ新潟県で全部保険料統一しようというそういう動きなんんですけども、医療水準も違うわけだし、財政人口も違うわけで、なかなかうまくいかないんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>大阪で県単位化して、軒並み保険料率上がつてますから、そういう統一はしたくないわけでございまして、そういうところはですね、かなり時間かかるんじゃないかなというふうに思いますし、いろんな還元の仕</p>

	<p>方も多分あると思いますので、その辺含めて先ほどの健康診断のね、特定健診のインセンティブじゃないけど、健診の受診が増えて 80%とか 90%になるんであればね、未然に健康チェックできれば医療費の高額化も防げる、そういう可能性もあるわけですので、やってみる価値はあるんじゃないかなというふうに思ってますし、私は本来は、保険税率は下げるべきだと思います。</p> <p>今 6 億ちょっと超える基金があると思いますので、6 億ってのはかなりの金額だというふうに思います。</p> <p>前回でも言いましたけども、今 8 億ですか。また増えたんですね。8 億もあるということですので、そういう意味ではですね、ぜひ、私の認識もえらい違っておりましたけども、基本的には毎年税率をここで決めてるわけですので、そんなにいっぱいお金貯めこむ必要はない、かつかつにしてね、来年は 3% や 5% 上げますよというのは、それは余りにも駄目かもしれませんけども、順番になくなるとは限りませんが、保険料を納め過ぎてんじやないかという声もありますのでね、ぜひ検討いただきたいというふうに思います。</p>
小林会長	はい、他にありませんか。
山田委員	はい。
小林会長	はい、山田委員。
山田委員	説明欄のところには、人間ドックの内訳があるわけですけれども、この事業っていうのは、人間ドックの事業なんでしょうか、その他にまだ事業があるのでしょうか。減額の理由についてちょっとお尋ねしたいんですが。
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	こちらの事業につきましては、人間ドック費用助成の事業になります。ここで減額となりましたのが、5 歳刻みの 4 万円の助成なんですが、当初の見込では、該当する年齢の方皆さんに受けさせていただきたいということで予算化したんですが、実績としてそこまでいかないということで減額させていただきました。
山田委員	議長。
小林会長	はい、山田委員。
山田委員	はい、わかりました。
	もう 1 つ、特別交付税について先ほどご質問ありましたけれども、保険料軽減分の対象者が増えた場合は、交付金は上がるというからくりなんでしょうか。

高橋係長	はい。
小林会長	はい、高橋係長。
高橋係長	はい。 軽減者が増えた場合ですけども、基盤安定負担金の方には影響してくるんですが、こちらの特別交付金につきましては加味はされてません。
山田委員	はい。
小林会長	はい、山田委員。
山田委員	もう 1 つ確認なんですが、以前、受診率が低いとペナルティがあるというようなこと也有ったような時代もあったんですが、今そういうことはあるんでしょうか。
風間課長	はい。
小林会長	風間課長。
風間課長	ペナルティで交付金が下がるということはないです。
山田委員	はい。
小林会長	はい、他にありませんか。
森委員	はい。
小林会長	はい、森委員。
森委員	歳入のほうなんんですけども、7 款繰入金の産前産後保険料。この事業が始まったのは去年からってことなんでしょうか。 それと、去年の金額よりも今年度の予算の方が、かなり多くなってるその理由と、この保険料繰入金はどういうものなのかをお聞きしたいんですけど。
風間課長	はい。
小林会長	はい、風間課長。
風間課長	産前産後保険料につきましては昨年度からになります。 金額が上がってるといいますのは、産前産後期間の保険料について、所得割と均等割を軽減するものでありますて、対象の人数は減っているんですけども、見込む際の所得に応じて繰り入れが決まりますので、その所得が多かったりすると、繰入が増えるという形になります。
森委員	はい。わかりました。

小林会長	はい、森委員。
森委員	はい。それでどういうときに、これが適用されるのかちょっとその辺お聞きしたいと思います。
高橋係長	はい。
小林会長	はい、高橋係長。
高橋係長	はい。 こちらにつきましては、国民健康保険の方が出産をする際なんですけども、出産をする月前後4ヶ月分なんですが、国民健康保険税を軽減するという制度がございまして、その分については、国・県の方から一部補助といいますか、ご支援いただくような形で入ってくるものであります。
小林会長	よろしいでしょうかね。
森委員	はい。
小林会長	はい、他にありませんか。
	それではないようありますので、報告第7号を終了いたします。
小林会長	次に、その他であります。
	何かありますでしょうか。
塙野課長補佐	はい。
小林会長	塙野課長補佐。
塙野課長補佐	はい。 それでは、その他といったしまして、お知らせがございます。 令和7年度予算が議決となりましたら、7月下旬ころに「先進地視察研修会」を予定しております。 研修先についてご要望等ございましたら、事務局へお申し出ください。 よろしくお願ひいたします。 以上です。
小林会長	はい。 他にありませんか。 それではないようありますので、以上で本日の協議会を終了いたします。
	皆さん大変お疲れ様でございました。

ありがとうございました。

◎付帯議決等・・・・・なし

午後 2 時 10 分 閉会

五泉市国民健康保険運営協議会

(署名)

会長 小林泰三

署名委員 行山真弓

